

クローズ型サウンディング開催のご案内

かがわPPP/PFI地域プラットフォームは、香川県内の地方公共団体が民間活用等を検討する個別案件のクローズ型サウンディングを開催します。対象案件にご興味のある事業者さまを募集します。

サウンディング案件一覧

高松市

開催日：2026年 7月29日（水）・8月5日（水）

- ① 高松市東部エリア及び南部エリアにおける学校給食共同調理場の事業手法の検討（保健体育課）
概要：民間活力を導入した事業手法での調理業務について参入意向や提供可能食数の把握

さぬき市

開催日：2026年 8月24日（月）・26日（水）

- ② 旧デイサービス等施設（日盛の里・日盛苑）の地域回遊・交流拠点等への転換に向けた検討（プロジェクト推進室）
概要：市が基礎インフラ改修費用を負担する可能性も含めた利活用可能性調査

三豊市

開催日：2026年 8月3日（月）・4日（火）・6日（木）

- ③ 三豊市豊中町旧小学校の利活用（管財課） ※4日(火)、6日(木)：午後開催
概要：廃校となった豊中町内旧小学校の有効活用に向けた売却の市場性・実現性の検討
- ④ 財田中小学校跡地の利活用（管財課）
概要：旧財田中小学校跡地の有効活用に向けた売却の市場性・実現性の検討

参加対象

対象案件の活用に興味のある民間事業者（香川県内外問わず）

開催形式

対面開催またはオンライン形式
（対面の場合は対象地方公共団体の会議室を予定）

申込方法

締切：各開催日の7日前まで
二次元コードを読み込み、申請フォームに必要事項を入力の上送信



案件の詳細説明は別紙記載（P3以降）

【主催】かがわPPP/PFI地域プラットフォーム

（代表：百十四銀行・香川県・高松市・日本政策投資銀行）



【お問い合わせ先・参加申込先】

株式会社百十四銀行 地域サステナビリティ推進部（担当：前場・入船）

（協力：114地域みらいデザイン株式会社）

TEL: 087-836-2985 E-mail: ppp@114bank.co.jp

参加申込について

お申込みの流れ

STEP1

- 二次元コードを読み込み、申請フォームに必要事項を入力のうえ送信
- 面談可能日は、可能な限り複数時間帯をご選択ください。



STEP2

- お申込みいただいた内容に沿って、事務局と対象自治体との間で日程調整を実施

STEP3

- 面談日が確定次第、事務局よりお知らせ（目安：受付から2営業日以内）

－ 留意点 －

☒ 1面談あたり最長60分程度

☒ 面談日時は先着順で確定

☒ 申込締切は各開催日の7日前まで

☒ 面談候補日は募集開始時点の候補日であり
事前予告なく変更となる場合もございます



【社名・団体情報及び個人情報の取り扱いについて】

本申込書にご記載いただく社名・団体情報及び個人情報については、かがわPPP/PFI地域プラットフォームへ併せて登録させていただきます。今回の地域プラットフォームに関するご連絡・運営、および今後開催する地域プラットフォームのご案内に使用し、ご本人の承諾がない限り、その他目的以外の使用、並びに運営者以外の第三者へ提供することはありません。

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名

高松市東部エリア及び南部エリアにおける学校給食共同調理場の事業手法の検討

地方公共団体名

高松市保健体育課

案件概要

【背景】

本市の学校給食調理場は、児童生徒に安全で安心な給食を提供するとともに、食育の推進を図るための施設として整備されています。

しかし、朝日新町学校給食センター及び六条町学校給食センターを除き、各施設の老朽化が進行しており、今後、学校給食に要求される衛生管理や、地域ごとの児童生徒数の急激な変動に対応しながら、食育の推進を図り、安定した学校給食を実施するためには、調理場の整備が課題となっています。

そこで、学校給食を取り巻く環境の変化も考慮し、計画性を持って整備を行うため、本市の学校給食調理場の全体的な整備指針及び整備計画を策定し、統合整備の検討を行っているところです。

【概要】

＜高松市東部エリア学校給食共同調理場（仮称）＞

建設候補地	未定
建設規模	未定
給食提供校数	小学校 9 校、中学校 4 校、幼稚園 1 園
最大提供食数	3,000食（想定）
献立数	未定
炊飯設備	有り（予定）
アレルギー対応	有り（予定）



＜高松市南部エリア学校給食共同調理場（仮称）＞

建設候補地	2 候補地
規模	2 階建て約3,600㎡
給食提供校数	小学校 8 校、中学校 4 校、幼稚園 5 園
最大提供食数	約6,000食
献立数	1 献立
炊飯設備	有り
アレルギー対応	有り



民間事業者
に
聞きたいこと

【前提条件】

- ・ 学校給食調理場の整備において、従来型手法やPPP/PFI手法等を比較検討し、本市にとって最適な事業手法により整備を行いたい
- ・ 現在、統合整備の検討を実施しているが、様々な整備手法がある中で、特に調理業務について事業への参入意向や提供可能食数などのご意見を伺いたい

【質問事項】

- ・ 各事業への関心度及び参入意欲
- ・ 事業参画に当たって望ましい事業手法（従来手法、PFI（BTO）、DBO等）
- ・ 参画意欲を向上させるために必要な条件
- ・ PPP/PFIの事業手法での事業参入に当たっての課題
- ・ PPP/PFIで採算の取れる提供可能食数
- ・ 今後想定される人件費上昇の影響（特にPPP/PFIの事業手法での事業参入、提供可能食数）
- ・ 配膳業務（給食場から運搬されてきた給食を各学級に仕分ける業務）についての委託契約の可能性

ホームページ
詳細資料

有（高松市学校給食調理場整備計画、高松市南部エリア学校給食共同調理場（仮称）整備基本計画策定及び民間活力（PPP/PFI）導入可能性調査業務報告書・【概要版】）

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名

旧デイサービス等施設（日盛の里・日盛苑）の地域回遊・交流拠点等への転換に向けた検討

地方公共団体名

さぬき市プロジェクト推進室

案件概要

【背景】

平成14年3月に完成した、さぬき市高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）及びさぬき市生活支援ハウス（日盛苑）（以下「日盛の里等跡施設」という。）は、これまで生活支援ハウスやデイサービス事業などの用途で活用してきましたが、令和6年4月以降は休館状態にあるため、跡施設を活用した地域振興等に資する事業に関する幅広いご意見、ご提案等を求めることとしました。

なお、当該跡施設を活用した地域振興等に資する事業に関する提案については、基準価格を提示したうえで令和6年7月1日から12月25日まで募集を行っていましたが、一事業者から利活用の意向があったものの、応募がなかったため、改めて活用の可能性を調査するものです。

【留意点】当該跡施設の利活用においては、次の条件が前提となります。

・**既存機能（介護・福祉）から「地域の回遊・交流拠点」等として用途変更を想定しております。**

・**基礎インフラ部分の改修については、市の費用負担も想定しております。**

・建物の一部において、民間診療所「ひもりの里診療所」が開設されています。

・敷地内に農業展示施設「さぬき市田園交流センター」が併設されています。

・敷地内駐車場は、指定緊急避難場所（高潮・津波・地震・大規模火災）に指定されています。

名称 高齢者福祉開発推進センター（日盛の里）跡及び生活支援ハウス（日盛苑）

建築年 平成14年3月

所在地 さぬき市鴨庄4481番地2

敷地面積 19,673㎡（駐車場敷地含む）

延床面積 3,331.29㎡

構造 鉄筋コンクリート造2階建

用途地域 都市計画区域外

アクセス JR志度駅まで6km（車9分）
高速バスストップ志度まで6.7km（車11分）
高速志度ICまで6.5km（車10分）



民間事業者に
聞きたいこと

- ・ 改修（リノベーション）による利活用事業のポテンシャル
- ・ 望ましいと考える導入機能
- ・ 望ましいと考える利活用手法
- ・ 望ましい維持管理運営の委託方法
- ・ 望ましいと考える改修・維持管理運営の費用分担方法
- ・ 参画意向
- ・ 他の事業者との連携における役割と想定される業務内容
- ・ 同一敷地内の施設
- ・ 物価変動リスク
- ・ 参画に向けた課題
- ・ スケジュール
- ・ その他

※ご応募いただいた後、詳細情報を記載した資料を別途送付いたします。

ホームページ
詳細資料

有（施設概要資料_旧デイサービス等施設（日盛の里・日盛苑）の地域回遊・交流拠点等への転換に向けた検討）

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名

三豊市豊中町旧小学校の利活用

地方公共団体名

三豊市管財課

案件概要

【背景】

三豊市では、持続可能な自治体運営を目的に、行政目的を終えた公有財産については、民間への積極的な売却を行っています。

売却対象となった公有財産については、HPを通じて公告を行うとともに、一般競争入札を実施しています。また、未利用地についても、HPにて周知を行っているところです。

【目的】

学校再編により令和7年度末に廃校となった、三豊市豊中町の旧4小学校について、民間活力による新たな有効活用を図るため、公有財産売却の市場性・実現性の検討を行うことを目的とします。

【調査対象】

物件番号	名称	所在地	敷地面積
1	旧桑山小学校	三豊市豊中町岡本188番地1	13,595.71㎡
2	旧比地大小学校	三豊市豊中町比地大2514番地1	12,449.12㎡
3	旧笠田小学校	三豊市豊中町笠田笠岡2192番地1	11,884.64㎡
4	旧本山小学校	三豊市豊中町本山甲1893番地1	12,728.75㎡



民間事業者に 聞きたいこと

【前提条件】

- ・ 賃貸借は、予定していない
- ・ 売却方法は、一般競争入札を想定
- ・ 売却については現状有姿とし、建物内には什器等が残存している

【質問事項】

- ・ 希望物件の有無
- ・ 利活用の用途・アイデア
- ・ 周辺地域への貢献や地域コミュニティとの関わり方に関する考え
- ・ 物件に対する懸念事項
- ・ 事業実施にあたって、市に対してご意見

ホームページ 詳細資料

有（旧桑山小学校（外観）、旧比地大小学校（外観）、旧笠田小学校（外観）、旧本山小学校（外観））

【別紙】サウンディング個別案件 概要説明

案件名	財田中小学校跡地の利活用		
地方公共団体名	三豊市管財課		
案件概要	【背景】 三豊市立財田中小学校は平成27年度末に閉校後、企業と賃貸借契約を締結し、令和元年8月末まで事務所として活用されていました。 その後、建物付きでの活用を検討しましたが、民間ニーズの把握調査でもニーズがなかったことから、令和6年度に解体工事を行い、令和7年度から一般競争入札による売却を実施しています。		
	【現状と課題】 民間ニーズ調査実施時は、更地であれば需要があったことから解体工事を実施しました。 しかし、売却実施時には需要がなくなっており、現在先着順による随時公募方式に切り替えて募集を行っています。 当該地は、地形柄いくつかの制限があり、参加者の参入を見合わせる要因となっていると考えます。		
	【対象物件】		
	物 件	財田中小学校跡地	
	住 所	三豊市財田町財田中宇川西579番2 他24筆	
	地 目	宅地・雑種地	
面 積	6,701.60㎡		
売却価格	23,900,000円		
	 		
民間事業者に聞きたいこと	【前提条件】 - 土地の一部が、財田川洪水浸水想定区域に該当 - 東側進入路については、暗渠水路の改修工事が必要 - 北側の一部が、香川県の建築基準法施行条例第4条第1項に定める「がけ」に該当するため、建築の際には条例による制限を受ける - 当該物件は、「宅地造成等工事規制区域」に含まれるため、規制に該当する工事を行う場合は、許可申請手続きが必要 【質問事項】 - 利活用のアイデア - 利活用が考えられる業種 - 需要の有無 - 入札価格の妥当性		
ホームページ 詳細資料	有（位置図）		